

## 中濃農林事務所の普及活動状況 令和3年10月25日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■ぎふ清流GAP評価制度 農場評価

10月21日に、関市内のトマト生産者がぎふ清流GAPの農場評価を受け、農業普及課も同席した。

評価は、およそ4時間かけて、栽培記録等の書類確認、農薬保管庫等の現地確認が行われ、改善が必要な箇所については、評価員から適宜説明された。

これまで農業普及課において農業生産活動の改善支援等を行ってきたが、今回、評価員からの新たな視点での評価により、更なる気づきにつながった。

今後、農業普及課では、一次結果報告書の結果を受けて生産者が行う是正の支援を引き続き行っていく。



【ぎふ清流GAP評価の様子】

(地域支援係)

#### ■農業大学校生 先進農家等派遣学習状況確認

農業大学校生の先進農家等派遣学習について、指導農業士等と連携しながら管内の先進農家等にて受入れを行っている。

今年は新型コロナウイルスの蔓延により開催が危ぶまれたが、例年より時期をずらして2年生は10月1日～30日に実施され、管内では学生2名が畜産農家2ヶ所にて受入れを行っている。

10月14日、農業大学校の先生とともに、受入農家を訪問し、学習の実施状況を確認した。2名の学生はいずれも真面目に学習に取り組んでいる様子で、熱心にメモを取りながら農作業に励んでいる様子であった。受入農家からは、経営理念や儲けるための様々な工夫などを惜しみなく伝えていただいている様子で、学校では得られない貴重な体験となっている。

農業普及課では、将来の貴重な担い手を育成する農業大学校の活動を、指導農業士等と連携しながら支援していく。

#### ■円空さといも さといも就農塾開催支援

昨年度は新型コロナウイルスへの対応で中止となったが、今年度2年振りにJAめぐみの就農塾（さといもコース）の講座が開催されている。このコースは、中濃圏域におけるさといもの新規就農者を育成する取り組みである。

令和3年度は11名が参加しており、10月5日に情報交換と選果場視察、10月21日に掘り取りと芋の切り離し、選別をテーマに実習が行われた。塾生らは熱心に情報交換や作業を行い、今後の栽培管理や出荷時の注意点等を習得した。

農業普及課は、今後も就農塾支援を行い、塾生がスムーズに就農できるよう支援していく。



【掘り取り実習の様子】

(地域支援係)

#### ■さつまいも 県内の生産法人を視察

中濃管内では、耕作放棄地を活用し、新たな品目としてさつまいもの産地化を目指している。

10月7日に、JAめぐみのさつまいも生産組合長とともに、揖斐郡池田町のさつまいも生産法人へ視察し、栽培ほ場、キュアリング施設、貯蔵庫、加工施設などを見学し、説明を受けた。

当日は、ほ場で収穫作業が行われており、病虫害被害の少ない、良質な芋が多く収穫されていた。視察先では、ほ場の土づくりや良質な苗の生産にこだわり、これまで試行錯誤しながら栽培を進めてきたこ



【視察先の圃場】

となどの話を伺った。

農業普及課では、今後、視察内容を生産者や関係機関と共有し、管内で発生している病害虫への対策や反収向上等について、生産者や関係機関と連携し、試行錯誤しながら取り組んでいく。

(地域支援係)